（別紙6）

年　　月　　日

事故原因究明・再発防止策検討シート

リスク管理責任者　御中

所属

氏名

|  |  |
| --- | --- |
| 事故発生日時 | 年　　　月　　　日（　）午前・午後　　　時　　　分 |
| 事故発生場所 | 施設名（住所）、発生場所 |
| 事故の内容 | 事故の詳細  負傷者の有無、程度  　負傷者（有・無）→有の場合、（　　）名 |
| 事故の経緯  ※「いつ、どこで、誰が、どうした」を明記すること | （事故発生）  （発見）  （通報） |
| 原因 |  |
| 再発防止策 |  |
| コメント |  |

（別紙6）　　　　　　　　　≪記入例①≫

年　　月　　日

事故原因究明・再発防止策検討シート

リスク管理責任者　御中

所属

氏名

|  |  |
| --- | --- |
| 事故発生日時 | 年　　　月　　　日（　）午前・午後　　　時　　　分 |
| 事故発生場所 | 施設名（住所）、発生場所  甲南大学　六甲アイランド総合体育施設北グラウンド |
| 事故の内容 | 事故の詳細  熱中症による意識障害、救急搬送  負傷者の有無、程度  　負傷者（有・無）→有の場合、（　1　）名  学生A（体育会○○部、学籍番号：12345678）  意識不明 |
| 事故の経緯  ※「いつ、どこで、誰が、どうした」を明記すること | （事故発生）  ○年○月○日（○）午後4時頃  （発見）  北グラウンドへの出入口付近で学生A（体育会○○部）が倒れているところを発見  （通報）  学生B（体育会■■部）が同部の学生Cに守衛室へ報告するよう指示し、意識がないため守衛から救急車要請。 |
| 原因 | 睡眠不足、食事の不摂取により熱中症になりやすい体調であるにもかかわらず、無理をしてクラブ活動に参加した。日頃から発熱がないとクラブ活動を休みにくい雰囲気があったため、無理をしてしまった。 |
| 再発防止策 | 体調の自己管理はもちろんであるが、体調が優れない場合は無理をせずにクラブ活動を休める雰囲気や信頼関係を、クラブとして構築するべき。 |
| コメント |  |

（別紙6）　　　　　　　　　≪記入例②≫

年　　月　　日

事故原因究明・再発防止策検討シート

リスク管理責任者　御中

所属

氏名

|  |  |
| --- | --- |
| 事故発生日時 | 年　　　月　　　日（　）午前・午後　　　時　　　分 |
| 事故発生場所 | 施設名（住所）、発生場所  甲南大学　講堂兼体育館 |
| 事故の内容 | 事故の詳細  練習中床に滑り込んだ際、床の木片（約3センチ）が左大腿部に刺さった。  負傷者の有無、程度  　負傷者（有・無）→有の場合、（　1　）名  　学生E（体育会○○部、学籍番号：12345678） |
| 事故の経緯  ※「いつ、どこで、誰が、どうした」を明記すること | （事故発生）  ○年○月○日（日）午後3時  （発見）  クラブ活動中に一緒に練習していた学生D（○○部）に、けが人本人（学生E）から報告があった。  （通報）  緊急性はないと本人が判断し、守衛室への報告や救急車は要請せず、タクシーで救急担当の病院を受診。深くはなかったが想定していたよりも長い木片が刺さっていた。 |
| 原因 | 体育館の床にある傷やくぼみが鋭利になっていたが、床が安全であることを確認せずにスライディングを含む練習をしてしまった。 |
| 再発防止策 | 普段から床や器具などの状態・安全性を確認することをクラブ内で意識づけ、安全確認を行ってから練習を開始する。  施設の不具合が発見された場合は速やかに大学に報告を行い、危険がない練習内容に変更する。 |
| コメント |  |